

# 株式会社シード（大阪府）

～ 世界初商品を契機に知財戦略を強化 ～

## 1. 世界初発明のヒット商品開発を起点に知財戦略を強化

同社では創業当時から積極的に特許、意匠、商標の出願を行ってきた。しかし、知財戦略に本腰を入れるきっかけとなったのは、昭和59年に同社が世界に先駆けて開発した「修正テープ」である。それまでの修正具といえば、修正液が主体であったが、修正後の面に凹凸ができる、乾きが遅い、服に付くと落ちにくいなどのデメリットがあった。それに比べて修正テープは、表面が平らでドライタイプなので修正直後に字を書くことができ、皮膚や服へも付着しにくいことなどから大ヒットし、今ではオフィス必須の文房具となっている。

また、同社の知財戦略は日本国内に留まらず、世界各国へ積極的な出願を行っている。なお、各国でのライセンス戦略でも一定の収入を得ており、知財関連予算の収支はプラスを確保している。

## 2. 独自のライセンス戦略

修正テープの内部構造など、分解するとすぐにわかるものについては特許を申請し、消しゴムの成分などの目には見えないものについてはノウハウで守っていく方針である。意匠と商標については、権利化可能と判断されるものについては出願を原則とするが、対象商品の将来性についても同時に考慮している。

工場見学をさせる場合においては、見せることができないラインを分ける。他社と契約を交わす場合には、詳細で漏れのない契約を交わすことによって情報の保護を図る。また、社内発表の前に特許出願を行うなど、営業担当者を含めて社内においても厳密な情報管理を行っている。

基本特許については、主要メーカーにライセンスし、それ以降の改良発明については、特定の企業のみライセンスしている。「ものづくりの会社は自社で物をつくるべきである」という考えは基本にあるが、同社だけで製造できないほどの需要がある商品の場合はライセンスによって利益を確保している。

さらに、他社の動向にも気を配り、権利化される危険性があるものについては積極的に証拠書類の確定日付を取って先使用権を主張できるように対策を施している。

## 3. 外国への出願によるグローバルな事業展開

同社は意欲的に国際出願を行っているが、パリルートで各国（概ね13カ国）への出願を行っている。中国など、外国での模倣品対策においては、ジェトロや弁護士などの意見を参考にしており、権利を侵害された場合は、販売元や製造元へ、弁護士名で警告書を送付している。

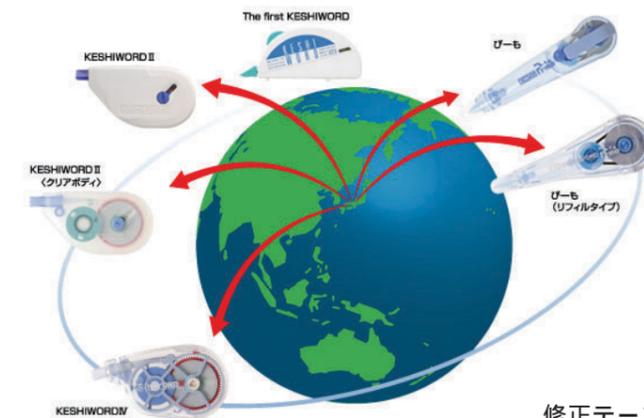
## 4. 専任の知財担当者による事前調査で効率化を図る

初期は手探り状態からのスタートで、大企業などの知財戦略を見本にしていたが、徐々に経験を蓄積してきている。修正テープの特許取得を契機に、これを保守するための特許部を作り、専任の知的財産担当者を置いた。開発部門と特許部の連携により、発想段階から特許に関するチェックを逐次行うことによって時間の無駄を省き、効率的に研究開発が出来るようになった。

先行技術調査については特許電子図書館（IPDL）を最大限に使って情報検索を怠らない。必要に応じてパトリスや、大阪府立特許情報センター閲覧室も活用している。海外の特許申請については、テクノリサーチなどの有料コンテンツも使用して、漏れのない調査を行っている。事前調査で得た内容に基づいて、特許マップを作成することによって特許範囲の広がりも視覚的に確認している。また、同社の発明に対する他社の関心は高く、無効審判を受けることも多い（特に外国が多い）が、同社が他社の知的財産権侵害をしたという例は無い。

取得した特許も、時代とともに不必要になることもある。特許料は更新を重ねるに従って高くなっていくため、他社による商品開発の動向や流行などを判断材料にして、必要のない権利は放棄することも重要であると考えている。

### 【保有権利に基づく製品例】



### <会社概要>

名称及び代表者名	株式会社シード 代表取締役 西岡 靖博
本社所在地	大阪府大阪市都島区内代町3丁目5番25号
創業	1915（大正4）年
資本金	4,000万円
従業員数	90名
主要製品	プラスチック字消し、ゴム字消し、修正テープ、粘土、複合商品
電話	06-6951-5436
URL	http://www.seedr.co.jp/